



パワー満開 とかの女子会の出し物 (斗賀野地区敬老会)

# あかわ *Sakawa* 議会だより

76  
2018.11.1

発行 高知県佐川町議会

9月定例会

contents 目次



秋はやっぱり運動会 (黒岩中央保育所)

平成29年度 決算を認定	2
学校ブロック塀改修は	7
一般質問 8人が問う	9

# 9月定例会

平成29年度

## 一般会計・特別会計の決算を認定 集落活動センター、4地区で活動開始

9月定例会は、7日から14日までの会期で開かれました。

平成29年度決算の認定のほか、平成30年度補正予算をはじめ、条例改正など議案19件、報告4件を審議し、採決の結果、賛成全員で全件可決しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



みんなの集う場ができた（斗賀野集活）

### 一般会計

前年に比べ、歳入は、10億2千万円余りの減額、歳出は、8億9千万円余りの減額となっている。

小学校耐震化事業、黒岩保育所新築工事、集落活動センター等の大型事業が前年度に完了したことで、平成29年度決算においては、歳入歳出とも大幅な減額となった。歳入では、国庫支出金、県支出金、町債が、歳出では普通建設事業費等が減額となっている。

### 病院事業

事業収支においては、純利益3千万円余りの黒字決算となっている。

年間取扱患者数は、入院患者数約3万3千人、外来患者数約5万6千人となっている。介護老人保健施設の利用者は、5千人弱で、デイケア、デイサービスの利用者はさくら荘5千人強、斗賀野荘6千人強となっている。

### 国民健康保険事業

歳入20億2千万円弱、歳出19億9千万円弱となっており、平成29年度も前年度に引き続き繰入基準額以外に一般会計からの繰り入れはなかった。

被保険者は、3260人、世帯数2103世帯。国民健康保険事業は、平成30年度から、県が県内市町村とともに運営が始まっている。

### 水道事業

事業収支においては、純利益1千万円余りの黒字決算となっている。

平成29年度から5カ年計画で東元町から富士見町までの基幹管路の耐震化を進めている。

### 介護保険事業

歳入16億9千万円余り、歳出16億5千万円余りとなっている。

65歳以上第1号被保険者は、4935人。

# 平成29年度各会計の決算状況

**歳出**

総額122億5,930万円

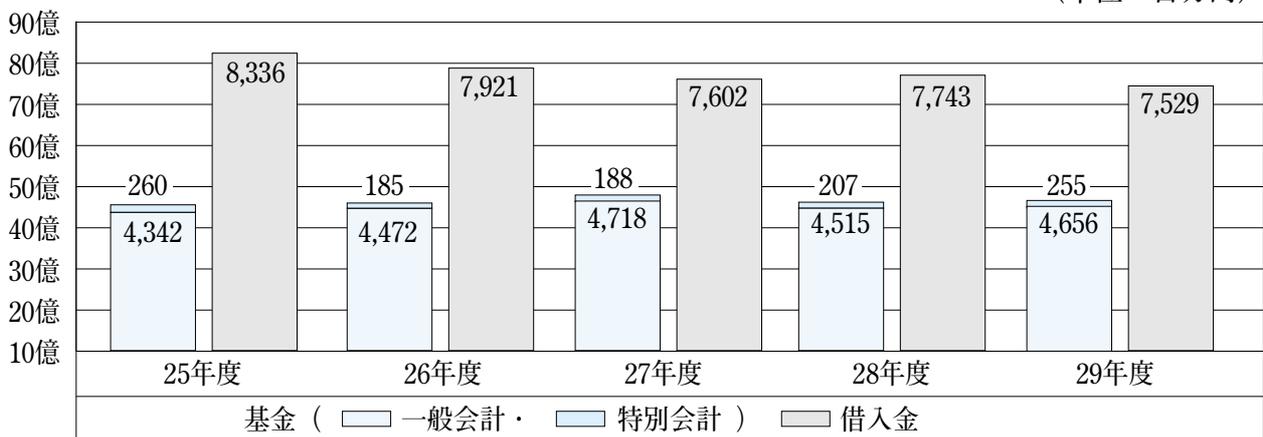
(単位:円)

会計名	決算額				
	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	66億7,314万	64億2,722万	5,561万	1億9,031万	
特別会計	国民健康保険	20億1,907万	19億8,761万	0	3,146万
	住宅新築資金等貸付事業	1,187万	6万	0	1,181万
	学校給食	6,043万	6,043万	0	0
	農業集落排水事業	2,283万	2,283万	0	0
	介護保険	16億9,230万	16億5,522万	0	3,708万
	後期高齢者医療	2億2,420万	2億2,056万	0	364万
	水道事業	1億7,508万	1億6,183万	0	1,325万
	病院事業	17億5,595万	17億2,354万	0	3,241万
合計	126億3,487万	122億5,930万	5,561万	3億1,996万	

※水道・病院事業特別会計は税抜収益的収支を記載

基金・借入金の推移

(単位:百万円)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

**町の基金**

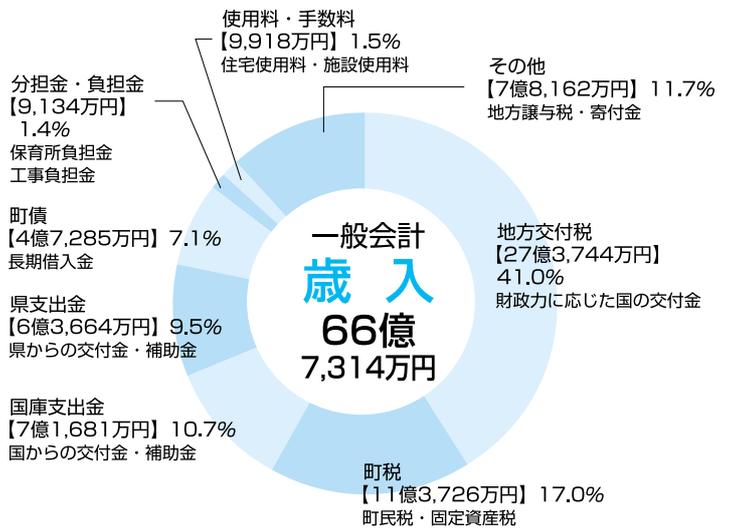
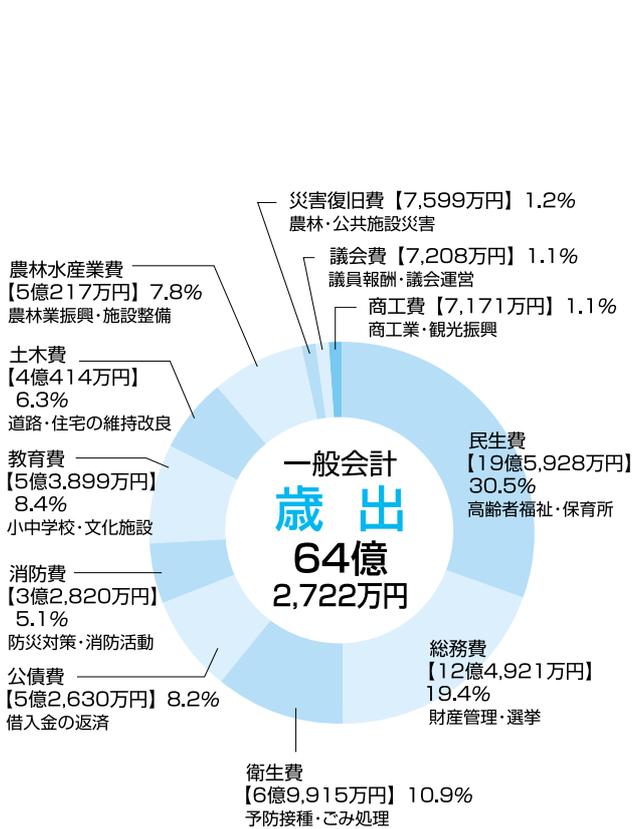
町の基金(積立金を含む)の状況は、平成29年度には1億8千万円余り増え、年度末現在高は49億1千万円余りとなっている。

**町の借入金**

一般会計では、借入金は、1千万円余り減少した。特別会計においては、2億円弱減少。全体としては2億1千万円程度減少。総額75億円余りとなっている。

# どう生かされた？みんなのお金

## 住民生活向上のために



平成29年度の一般会計の状況は、歳入においては、固定資産税の課税客体の増により、地方税収入は増加しているが、地方道路交付金、地方創生加速化交付金、年金生活者等支援臨時福祉給付金等の減により、国庫支出金は大幅に減少し、災害補助金、集落活動センター補助金等事業完了に伴い県支出金も減少、町債も減少となっている。

### 監査意見(要旨)

監査委員  
上田益英  
西森勝仁

未収金の状況は、一般会計、特別会計を含めると、不納欠損額約176万円で、前年度から約252万円減少し、収入未済額は、5426万円で前年度から約290万円減少している。自主財源の確保は言うまでもなく、負担公平の原則からも滞納の防止と回収を図るよう収納業務の継続的な努力を期待する。

今後は、財政状況を踏まえ、投資のバランスを図りながら、必要な財源を確保し、住民の負託と信頼に応えるべく、計画的、効率的かつ効果的な行政運営を推進されることを要望して監査報告及び意見とする。



# 平成29年度 決算質疑

## 平成29年度 一般会計決算

下川議員 中山間地域等  
直接支払い交付金事務委  
託料33万余り、多目的機  
能支払交付金事務委託料  
108万余りの内容につ  
いて説明を求める。  
また、この委託費は団  
体に交付される交付金か  
ら捻出するのか、町単独  
で行うものか。



用水路の清掃作業

産業建設課長 地域の農  
業施設等を守っていく団  
体が行う交付金事業の中  
で、事務の一部を土地改  
良事業連合会に委託し団  
体の事務を軽減してい  
る。  
地域に支払われる交付  
金とは別に町単独で支払  
うものである。

## 学校給食



おいしい給食ありがとう！

中村議員 平成29年度分  
は100%滞納がないと  
のことだが、滞納分87万  
円余りの入金の内容は。  
教育次長 平成29年度に  
入った滞納分が87万円余  
り、残りの未収金が17  
9万円余りとなっている。  
る。

## 病院事業

森議員 病院経営安定の  
ための資金残高の状況は  
どうか。  
病院事業副管理者兼事務  
局長 29年度決算で5億  
5千7百万円余りであ  
る。

## 議会広報編集委員会研修報告

平成30年10月9日、  
東京都千代田区で町村  
議会広報研修会が開催  
された。  
佐川町からは、議会  
広報編集委員4名と事  
務局1名が参加した。  
最初に朝日新聞校閲  
事業部長前田安正氏か  
ら、「読み手に伝わる文  
章の書き方」と題して、  
正確な情報を伝えるた  
めに、読み手にわかり

やすい文と文章、不快  
にさせない表現方法を  
学んだ。  
次に、株式会社コン  
セントアートデイレク  
ター筒井美希氏より、  
「デザインの力で、もっ  
と伝わる議会広報誌に」  
と題し、紙面のデザイ  
ン、読み手目線、文字  
のレイアウトなどの活  
用方法について学んだ。



最後に、グラフィッ  
クデザイナー長岡弘光  
氏から、「最優秀賞及び  
優秀賞作に見る光彩を  
放つ編集力」と題して、  
最優秀賞の埼玉県寄居  
町議会広報と優秀賞の  
山形県川西町議会広報  
の内容を示しながら、  
編集力の重要性につ  
いて学んだ。  
この研修を通じ、正  
確な情報を読み手目線  
で分かりやすく伝える  
ことの大切さと、議会  
が独自に取り組む政策  
の重要性を、あらため  
て強く感じた。  
今後はこの研修を糧  
に、よりよい議会広報  
づくりに努めていきたく  
と思う。

平成 29 年度

この事業に議会が

注目

9月定例会で平成29年度の決算認定がされました。平成29年度に実施された事業の中で議会が注目した事業を紹介します。

南海地震対策の重点事業として、住民の安全・安心につながる住宅耐震化等を支援するための補助を実施。

### 木造住宅耐震化支援事業

5,038万円

公共交通空白地域の住民の方や交通弱者の方の移動手段確保のための「さかわぐるぐるバス」の本格運行が平成29年4月から始まった。

### 地域公共交通事業

4,925万円

地域づくり、活性化の拠点となる集落活動センターが斗賀野地区に完成。町内4カ所の集落活動センターに集落支援員も配置され、地域住民が自主的に活動できる体制が整いつつある。

### 地域づくり事業

1億4,498万円



カレーの日は大にぎわい（斗賀野あったか）



シヨウガ作りに精を出す協力隊員

地域の活性化や移住促進を図るため、自伐型林業14名、農業6名、発明ラボ5名、ものづくり3名、観光2名、ふるさと納税1名で活動した。

### 地域おこし協力隊事業

1億1,042万円

# 9月 補正予算 ピックアップ

## 教育委員会

### 事務局費

2451万円

調査の結果、改修が必要と認められた町立小中学校（佐川小、斗賀野小、黒岩中）のブロック塀等を改修する。

## 小学校管理費

287万円

佐川小学校のコンクリート擁壁の老朽化に伴い、改修するための測量設計委託業務費用。

## 障害児施設等設置費用

602万円

児童通所サービスの利用増加に伴う増額補正。

平成30年9月補正予算 (単位：円)

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	59,604万	68億8,847万	
特別会計	国民健康保険	2,834万	17億7,645万
	住宅新築資金等貸付事業	1,181万	1,611万
	介護保険	3,325万	18億2,670万
	後期高齢者医療	365万	2億2,651万

# 9月定例会で決まりました

## 条例改正

さかわぐるぐるバスの運行に関する条例

さかわぐるぐるバスの利便性の向上と利用促進を図るため、回数券導入に関する改正を行う。

## 人事

佐川町教育委員会委員

渡邊 紀 氏  
佐川町西組1049番地10

# 平成30年度 補正質疑

もしっかり教え、親の世代にもICTを利用して伝えていく。

下川議員 町立小中学校ブロック塀等改修工事はどのような調査をし、どのような工事を実施する予定か。

教育次長 大阪府北部の地震による事故に伴い、6月20日に町内の小中学校の調査を依頼、確認し、佐川小学校で52m、斗賀野小学校で100m、黒岩中学校で45mと57mの工事を実施する。

中村議員 ブロック塀改修工事は国の補助事業と想うが、予算について国の補助と一般財源はそれぞれどのくらいか。  
教育長 国の補助金はない。避難所の起債を使い整備していく。

松浦議員 予備費に390万円が補正されているが、その理由は何か。  
総務課長 町立小中学校のブロック塀改修工事にかかる測量設計委託業務、緊急的な災害対応費用を補正したものである。

また、これに代わって1020万円の事業費で採択されたふるさと教育とはどんな内容か。  
町長 不採択となった当初予算の事業申請については、費用はかかっていない。

新しく申請し採択されたふるさと教育の内容は、今、使い方を精査している。ふるさとを誇りに思う教育が必要だと思っている。さらに佐川の歴史や産業などについて



地震でも安全な塀に！

# 各議員の意思表明

賛否表(平成30年9月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
平成29年度一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度水道事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成30年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
さかわぐるぐるバスの運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
保育の実施に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
平成29年度佐川町水道事業特別会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠

8人が町政を問う

# ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

## ツイッター・フェイスブック開設すべきだ

町長 来年度、立ち上げを目標に

災害が発生した時、どの発信ツールがダウンするかわからない。情報発信の手段を二重三重に用意しておく必要がある。この点を踏まえ、行政情報を発信するツイッター・フェイスブックの公式アカウントを開設すべきだ。

堀見町長 行政情報としてのツイッター・フェイスブックの利用に関しては、今年度検討を進め、来年度のスタート時点で立ち上げることを目標に、検討、協議を進めていきたい。



県基準に満たないがけ崩れ対策を

## 個人への補助制度取り組むべきだ

産業建設課長 年度内に検討したい

全国の自治体の中には、個人が所有する宅地のがけ崩れ等について、県の基準に満たないものについても自治体独自で補助制度を行っているところが結構ある。四万十町においても個人に対して補助を行う集落環境整備事業を行っている。本町においても取り組むべきだ。

田村産業建設課長 今、

原則として、個人が所有する財産の保全に対して、公費を入れるべきでないと考えている。

ただし、現状でも、材料支給という形の補助は行っており、今後、他の市町村の取り組みを調査し、年度内に、本町の取り組みを検討したいと考えている。

## 産後ケア事業

### 早急に取り組むべきだ

健康福祉課長 実施できるよう取り組んでいる

本町の子育て包括支援センターは、切れ目のない細やかな子育て支援の拠点と言われている。その支援の中の、産後のサポートをするための大切な支援が、産後ケア事業であり、産婦健康診査だ。本町においても、早急に実施に向けて、取り組むべきだ。

田村健康福祉課長 産後ケア事業については、施設の状態を考え、専門職が訪問して行うアウトリーチ型を考えており、実施できるように現在取り組んでいる。産婦健康診査は、県下では、まだ実施しているところはなく、今後、県と歩調を合わせてやっていきたい。



元気に大きくな～れ!



坂本 玲子 議員

# 図書館建設 どうなる

教育長 平成34年度になる見込み

図書館建設計画は、遅れてきている。図書館整備方針策定委員会が発足したが、どう方針を決めていくか。現図書館でも改善が必要な点がある。それをどうするか。  
また、資料費の増額と専門性の高い業務の司書の正規採用が必要だと思っ

川井教育長 図書館建設は平成34年度になる見込み。策定委員会では、備えるべき施設の具体的な内容、図書館サービスの内容、管理運営体制などを決めていく。提言書の内容を目安にして図書館整備方針の策定をしていく。  
現図書館の改善は来年度予算で順次対応していく。資料費増については努力をしていきたい。司書の採用についても今後考えていく。



使いやすいプールに！

# 町民プールの サービス向上を

教育長 指導し改善していく

この4月から、プールの指定管理者がかわり、利用者からは職員の状態、水温、照明、監視員、

屋外プールの利用時間等、不満の声が多い。サービス向上のため、職員の教育が必要だ。

町民（前職員）の雇用は守れず、サービスは低下した。指定管理に出すことが適正なのかの検証も必要ではないか。

川井教育長 町民の皆さんが利用しやすい施設になるため、接遇面も含めて指定管理者と協議・指導してサービスが向上するよう改善していく。また指定管理の検証もやっていく。

# 臨時保育士・あつたか職員 賃金改善を

町長 協議検討していく

全国的に保育士が不足している。国は労働条件改善を打ち出した。

しかし、町の公立の臨時保育士の賃金・待遇は改善しないままだ。経験年数を考慮し改善すべきではないか。また、地域で頑張っている、あつたかの職員も正当な賃金にしていくべきだ。



子どもの成長によりそう保育士（永野保育所）

田村健康福祉課長 他の市町村の状況も調べ、研究し予算要求の方向性を決める。

堀見町長 平成31年度の予算査定の中で検討が必要な職種、人に関して協議検討をしていきたい。

その他の質問  
障がい者雇用について



橋元 陽一 議員

四万十町は町内2つの高校支援として、通学費補助の他に、新たに将来の町じゆりを支える人づくりの一環として約4千8百万円の予算を組み、町営塾「じゆつく」を公設し、中高校生を支援している。町として、佐川高校に、どんな支援をしているか。

## 佐川高校へ 財政支援を

教育長 50万円の支援をしている

また高校から他に財政支援の要望はないか。

川井教育長 財政支援は、全日制に20万円、定時に30万円。

佐川町では、さくら咲くプロジェクトでの1年生の地域学習、2年生のインターンシップなどを支援している。

高校から具体的な要望はないが、今後の振興策を検討する中で財政支援を考へることも議論している。

## 国土強靱化地域計画 なぜ武力攻撃を入れるか

総務課長 全てのリスクを想定した

6月議会で全てのリスクを想定したとの答弁だった。では1994年に大川村で起きた米軍機の墜落事故などのリスクも検討したか。  
すでに国民保護計画で武力攻撃の対策を立てているのに検討委になぜ提起しなかったのか。  
自然災害の対策である地域計画に武力攻撃の項目を入れるのは承服できない。削除を求める。

麻田総務課長 全てのリスクを想定した。墜落事故については検討委、総務課から提案、意見が出ず、審議にならなかった。国民保護計画を地域計画にリンクさせることは考えていなかった。  
堀見町長 当時、弾道ミサイルが想定されたので、検討委で真摯に考えていただいた。現時点で計画から削る予定はない。



佐川高校 さくら咲け

## 新図書館計画 なぜ遅れたか

教育長 他の事業を優先した

川井教育長 所管施設の耐震化、テニスコートの増設、小中学校へのエアコン整備などを優先したので、建設が遅れている。建設場所や青山文庫との合築問題等課題がある。今後、平成30年度に先進地視察と3回の委員会を開催する。平成31年度は住民向けの講演会やワークショップを行い、平成32年度秋までに基本構想を策定する。平成33年度に設計を行い、平成34年度に建設予定だ。

町民から請願書が提出され、検討委が2015年に提言書を出した。建設計画が遅れた原因や課題は何か。

建設のスケジュールは、

その他の質問  
新たな産業廃棄物処理施設をめぐる状況について



みんなが待ってる新図書館(日高村図書館)



西森 勝仁 議員

## なぜ聞けぬ 町民の切実な声

町長 面会予約をしてから会う

町長は、町民の声をよく聞き「人のため世のため」に働くと言って町長に就任して足かけ5年。就任直後は、職員とも机を並べていたが、すへに苦情や要望が相次

## どうするつもりか 今後の財政運営

町長 予算編成方針は変わらない

へようになり、それから個室に引っ込んでいたのではないか。  
今や、急用があつて町長に相談に行つても、アポ予約がなければ面会しないと聞けが、本当方。なぜ、町民の切実な声を直接聞いてやる事ができないのか。  
堀見町長 陳情や要望については、私が最初に直接聞くよりは担当者のほうがよいと思う。秘書には担当課を通してあるのかどうかしっかり確認させ、その上で基本的には予約してから会うつもりになっている。

今年の当初予算は、町長自ら考えたという予算編成方針により10億円も不足する、問題の予算となっている。  
もつすへ、来年の予算編成方針を定める時期に來ていると思うが、財政運営をどうするつもりか。  
また、南海地震や東海地震などもいつ起こるか分からないし、東アジア情勢もいつ風雲急を告げるかもしれない。そうなると国も交付税を減らす

はなくなると思うが。そのとき、現金(基金)を持っていれば町民の命や生活を少しでも守れると思うが、どうか。  
堀見町長 来年度の予算編成方針はまだ考えていないが、基本的には変わらない。  
国の非常事態で交付税がストップすることは想定したことはないが、そのときは臨機応変にリーダリシップをとる。



住民の声、届いてる？

## 一体どうなっている 買収した四電住宅

町長 5棟は何も決めてない

町長は、平成27年度に1億3千万円を計上し、川内ヶ谷にある四国電力の土地付き社宅11棟を購入。これを改修して移住促進などに使うと説明していたが、現在でもこのうち5棟はほったらかしだ。  
また、聞くところによると、壊して「道の駅」の道路に使つとも聞かぬが、一体どうなっているのか。  
堀見町長 5棟については、壊すかどうかも含めて何も決めていない。



どう利用する四電住宅



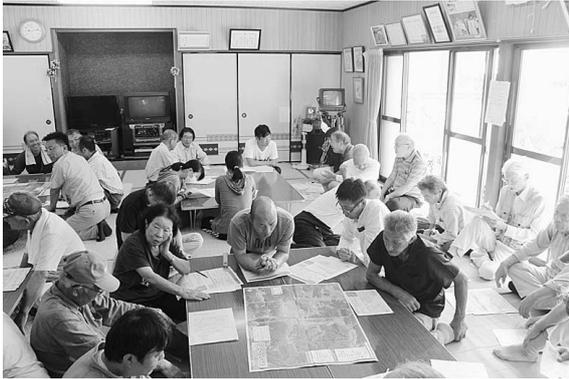
森 正彦 議員

西日本豪雨で多くの死者、行方不明者が出た。この災害からどのような教訓を得たのか。  
また、住民への避難行動の徹底をどうするのか。

## 西日本豪雨での教訓は

総務課長 自分ごととして行動を

麻田総務課長 西日本豪雨では、住民の防災に対する意識の低さが人命につながる被害を大きくした要因の一つと言われている。当町でも住民の防災意識の低さについては対岸の火事ではないという思いがある。  
今後、災害が発生しても住民一人一人が犠牲にならないよう自分ごととして考え避難行動をとってもらえるよう防災意識の高揚を図っていきたい。



つながり合って命を守ろう (川内ヶ谷防災まちづくりサロン)

## あったかふれあいセンター 職員の処遇改善すべき

健康福祉課長 役場全体で見直したい

あったかふれあいセンターは、地域で安心して暮らせる町づくりには欠かせない施策となっている。しかし、職員の給与は県内のセンターで一番下のグループであり、しかも何年たっても昇給はなく職員は将来に向けての希望がない。処遇改善をすべきだ。

田村健康福祉課長 賃金の見直しについては、あったかふれあいセンターだけではなく、役場では保育士やいろんな専門職、職員が働いている。全体での比較やバランスが大切だ。

職種によっては経験年数なども考慮する必要があると考えている。一定の基準について役場全体で見直していきたい。  
堀見町長 会計年度任用職員制度が平成32年度からスタートする。その中で協議をして見直していきたい。  
急ぐものに関しては、柔軟に対応していきたい。

大災害が発生した場合、避難所の設置や運営、道路や橋、堤防などの緊急時

## 緊急時の資金対策は大丈夫か

総務課長 基金で対応できる

急の修理復旧等に多くの費用がかかる。緊急時に必要な資金は大丈夫か。  
麻田総務課長 大災害発生後は、避難所の設置や運営、ライフラインの復旧、災害のゴミ処理等に多額の費用が必要になる。  
予算不足になれば財政調整基金24億4千万円、施設等整備基金、消防防災整備基金等は合計で15億7千万円あり、国からの財政支援もあるので資金不足になることなく対応できる。



ゲームで脳を活性化 (斗賀野あったか)



中村 卓司議員

# 牧野富太郎 朝ドラになるかも

町長 機運を高めていく

「牧野富太郎を朝ドラに」という記事が高知新聞に出たが、その内容と今後の動きについて聞く。岡崎チーム佐川推進課長「牧野富太郎を朝ドラにするのは7月10日に設けたい。

# 早うしてよ 道の駅

町長 精査して詰めていく

れ、主に署名活動を行っている。関わっている方々は「はなもりCOOLOVE」の皆さんで、町内の観光協会、旧浜口駅、司牡丹、嶋崎商事、高知市の事務局で行っている。9月4日時点で3570名の署名が集まっている。堀見町長 今後は町民の皆様にお伝えし、時間をかけて機運を高めていく。最終的には署名の数が一万を超えれば良いという話を聞いている。それを持ってNHKに大手を振ってお願いに行きたい。

道の駅問題の現状と経過について説明を求めた。岡崎チーム佐川推進課長 検討委員会で用地として絞った2カ所の地権者と接触を始めており、用地買収の可能性を探っている。今後は検討委員会を年内に再開し、施設の中身運営の方法を来年度にかけて詰めていく。



朝ドラ 期待してまーす！

堀見町長 2カ所の提案があるが、事業化を考えるといくときは、それも含めどころが適地か、経営ができていくのか、より精査して詰めていく。

# 投票率上げるため 投票所どうする

総務課長 見直し案に沿って設置する

投票率が下がっている。近くに投票所があれば上がるのではないかと、町内の投票所の現状と今後の動きについて聞く。

麻田総務課長 選挙管理委員会の見直し案で説明すると、庄田地区については6月議会で質問があり、設置する方向でと答えている。またもう一カ所の投票区については、現投票所であるかわせみ投票所が2千7百名と多人数だ。これを減らせないと検討した結果、虎杖野公民館をもつ一度再設置できないかという見直し案となっている。今後は関係自治会長の意見を聞く。正式には県の選挙管理委員会と協議後、決定する。



近くで投票できたらいいな（虎杖野公民館）



下川 芳樹 議員

来年1月1日より、一部の農協を除く12JAが合併し高知県農協が設立される。合併による町農政への影響はどうか。新規就農対策の後退はないのか。

## 県農協設立 町農政への影響は

産業建設課長 しっかり関わっていく

田村産業建設課長 今もJA高知県に統合後も、事業に影響が出ないよう情報を集めている。現在JAが事業主体で行っている園芸用ハウス整備事業、環境制御装置導入事業についても、また、新規就農者への対策にも、それぞれ影響が出ないよう町としてしっかりと関わっていく。



合併まじかのコスモス農協

県より、産廃候補地3カ所が現地調査の結果、いずれも適地であるとの報告があった。

## 産廃 踏み込んだ説明を

町長 丁寧な対応に努めていく

町は現地調査の内容をどのように受け止めたのか。日高エコサイクルセンターも2022年9月には満杯になる見通しだ。県と一緒にもう少し踏み込んだ説明を実行するべきだ。

堀見町長 県から説明を受けた調査結果については、その方法、内容に関し疑義を感じることはない。3カ所とも適地であるとの現状を真摯に受け止め、県には地元への丁寧な説明を求めている。町としても丁寧な対応ができるよう、努めていきたいと考えている。

## 加茂地区への ふるさと教育は

教育長 子どもたちに役立つ計画に

昨年12月定例会で、教育委員会が異なる加茂地区の子どもたちにふるさと教育をどうつないでいくのかとの質問をした。その後の取り組み内容について聞く。

川井教育長 地方創生推進交付金対象事業として、地域ぐるみのふるさと学とシティブロモーション事業として取り組みを進めている。平成32年度にかけて全体計画を中



加茂での産廃説明会

近年、少子化が進み、婚姻成立が減少している。婚活イベントを、単なる出会いの場を提供するという形式のものでは有用性が薄い。

# 婚活イベント 新たな取り組みを

チーム佐川推進課長 前向きにとらえる

宮崎 知恵子 議員



新たなカップル誕生か！（婚活バスツアー）

趣味を同じくする者たちが集い交流し、交際を深めるような取り組みをしてはどうか。  
岡崎チーム佐川推進課長 第5次佐川町の総合計画の中でも行政として、支援していくよう位置づけている。積極的に協力していきたい。具体的にどういった支援ができるか前向きに捉えていきたい。

# 国旗・国歌で 愛国心を

教育長 適切に指導

国民の祝祭日に、役場は国旗掲揚しているのか。子どもたちが自然な気持ちで国旗、国歌に愛

着を持ち、世界で行われている普通の愛国心を養う教育を進めるべきだ。  
麻田総務課長 役場の本庁舎屋上に、祝祭日には掲揚している。  
川井教育長 わが国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も尊重する態度を育てるよう適切に指導している。

# いじめ対策 非認知能力高めて

教育長 取り組んでいる

2020年の大学入試より、知能・技能（認知能力）だけでなく、思考力、判断力、表現力を中心に評価する人間力（非認知能力）を5つの能力指数で見極めるとされる。非認知能力の一つである逆境能力を高める教育が、いじめが原因とされる、不登校、引きこもりに耐える自己防衛能力等を克服する力となる。取り組むべきだ。

川井教育長 社会全般で、認知能力（IQ）が重視される傾向だったが、最近の研究で、非認知能力がもっと大事であると分かってきた。  
学習指導要領でも位置づけられている。学校教育において十分意識し、取り組んでいる。



庁舎屋上に掲揚された国旗

# あれはどうなったが？



## 就学援助制度改善を

(平成28年6月定例会)

就学援助制度の新入学児童学用品費については、運用を改善し入学前に支給できないか。

(坂本議員)

<関連質問>

(松浦議員)

## 教育長 答弁

### 今後検討する

他の先進的な市町村の運用状況を調査し、少しでも早く支給できるよう、前向きに検討したい。

### 平成30年度の新入学生から入学前支給

平成30年4月の新入学生から、入学前の3月支給を実施するとともに、支給額の増額も行っている。

どう  
なった

あなたが選んだ議員の  
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月7日(金)午前9時  
開会予定です。傍聴においでください。

### 議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 下川 芳樹 |
| 副委員長 | 西森 勝仁 |
| 委員   | 坂本 玲子 |
| 委員   | 宮崎知恵子 |
| 委員   | 橋元 陽一 |

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

議会では、新議員と経年数の若い議員と合わせて、5名が事務局と議会だよりの編集を担当する習わしです。

毎議会、終了2カ月後の発行に向けて編集作業を進めます。私には文章の校正、写真挿入での紙面づくりなど、一つ一つの作業が勉強です。

住民の皆さんが読みやすく、また声や願いに応える議会活動を伝えていく議会だよりの編集作業は、2つの常任委員会の活動に匹敵するくらいだと思っています。

これからも広報・公聴の重要な役割を果たせるよう、がんばります。

橋元 陽一

# 地域で がんばる

## 加茂地区

### 火文字祭りの取り組み

今回は、佐川町加茂地区の火文字祭りを継承している、竹の倉のひじり神社氏子総代にお話を伺いました。



氏子総代の北添さん

— このお祭りはいつごろから行われているのですか。

— 加茂地区にあるひじり神社の祭りとして、地域住民に親しまれている火文字祭りは、いつ開催されていますか。

毎年旧暦の6月15日にあたる日の手前の日曜日に開催しています。

— 当日が雨天の場合はどうなりますか。順延したりされていますか。

その日限りのお祭りで、その年の火文字祭りは中止となります。

— 火文字はどのようにして点灯しているのですか。

歴史は古く江戸時代ごろからだと聞いています。戦時中に一時中止となっていた祭りを、40年ぐらい前から復活しました。以前は花火を上げたり、参道に絵馬も飾っていました。

ひじり神社のある権現山の岩肌に組んだ足場に、ろうそくに火をつけた提灯を吊るして文字を作ります。高い場所での作業で大変です。



氏子のみなさん

— この祭りは竹の倉の皆さんで行っているんですか。

竹の倉にあるひじり神社の氏子19戸で行っています。

以前は30数戸の氏子でしたが、高齢化や若者不足でどんどん減少傾向にあります。

— 今後の取り組みについては、どのようにお考えですか。

地域の皆さんと知恵を出し合って、なるべく長く祭りが継続できるように取り組んでいきたいと思っています。



昨年度から開設された集落活動センター加茂の里では、火文字祭りに合わせて交流イベントを行っていると思います。どうか加茂地区の皆さんと協力して、伝統ある祭りを守ってください。ありがとうございました。



火文字を見ながら交流イベント

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。